TOSHIBA　東芝業務用リモコン操作器取扱説明書

対象機種	AAR-101（1局用）、AAR-501（5局用）、AAR-1001（10局用）

このたびは東芝業務用リモコン操作器をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めの業務用リモコン操作器を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
なお、お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全上のご注意

●ご使用の前に、この取扱説明書「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●お読みになった後は本機のそばなど、いつも手元に置いてご使用ください。

〔絵表示について〕

●この取扱説明書および製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

〔絵表示の例〕

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図のなかに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⦸記号は禁止の行為であることをつげるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

 警告

〔据付、設置、接続、移動にあたっての注意〕

■通風のよい場所に設置してください。高温や湿度、ほこりの多い次のような場所には設置しないでください。火災、感電の原因となります。
- サウナや風呂場など
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所
- 直射日光のあたる場所
- 夏の窓を閉めきった自動車の中
- 電気、ガス、石油ストーブなどの暖房器具の真上やその付近
- 有害ガスやいろいろなほこりが特に多い所

工事店様へ 工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。
お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

＜生産完了 2005年07月29日＞

警告

■電源コードの上に重いものを乗せたり、コードが機器の下敷きにならないようにしてください。
コードに傷がついて、火災、感電の原因となります。

■表示された電圧（交流100V）以外の電圧で使用しないでください。
火災、感電の原因となります。

■この機器は改造しないでください。
火災、感電の原因となります。

■AC100V関係の配線工事は電気工事士にご依頼ください。
一般の人が行うことは法により禁じられています。

■必ずアース端子は接地してください。
- 外来ノイズから機器を守るノイズ吸収素子の働きを活かすために、必ずアース端子を接地してください。
- ガス管にアースすると危険ですから絶対におやめください。
- アースはD種（第3種）接地工事（接地抵抗100Ω以下）とし、専用としてください。

〔使うときの注意〕

■この機器に水が入ったり、濡らさないようにご注意ください。
火災、感電の原因となります。

■この機器の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。
こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となります。

■電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたりねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
火災、感電の原因となります。

■この機器の裏蓋、キャビネット、カバーは外さないでください。感電の原因になります。
内部の点検、調整、修理は販売店にご依頼ください。

■万一、機器の内部に水や金属物などが入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜くか、電源を切って販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

■万一、煙が出ている、変な臭いがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。すぐに、本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、電源を切って煙が出なくなるのを確認してから、販売店に修理をご依頼してください。

＜生産完了 2005年07月29日＞

⚠ 警告

■万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜くか、電源を切って販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

■雷が鳴りだしたら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

〔お手入れ、保守、点検にあたっての注意〕
■電源コードが痛んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのままで使用すると火災、感電の原因となります。

⚠ 注意

〔据付、設置、接続、移動にあたっての注意〕
■ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

■壁などに取り付けるときは、指定のねじ、ボルトを使ってこの機器の重量に耐える場所に、堅牢に取り付けてください。重量に耐えられないと落下し、けがや器物破損の原因となります。

■移動させる場合は電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜くか電源を切って、外部の接続コードを外してから行ってください。そのままで移動するとコードに傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

■機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。
また、接続は指定のコードを使用してください。

■電源コードを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

■施工完了後は必ず取り外した端子カバーは元通りに戻してください。戻し忘れると故障、誤動作の原因となります。

■この機器への配線は、スピーカ線や調光器系統、AC電源系統とは必ず別配管とし離して布線してください。
同一配管しますと、発振やノイズ発生、誤動作の原因となります。

⚠注意

■この機器の上にオーディオ機器などを載せたままで移動しないでください。
落下したりしてけがの原因となります。

〔使うときの注意〕
■濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

■この機器の上に乗ったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。
こわれたりして、けがの原因となることがあります。

■この機器の上に重いものや、外枠からはみ出るような大きいものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり落下してけがの原因となることがあります。

■電源を入れる前にマイク音量調節器（ボリューム）を最少にしてください。
突然大きな声が出て聴力傷害などの原因となることがあります。

■使用中に突然音が出なくなったなどの異常が生じたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くか電源を切ってお近くの販売店にご相談ください。
そのまま放置しておくと、大変危険です。

■長時間音が歪んだ状態で使わないでください。
スピーカが発熱し、火災の原因となることがあります。

〔お手入れ、保守、点検にあたっての注意〕
■お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

■1年に一度ぐらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除しないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。

■ヒューズを交換するときは必ず指定容量のものをご使用ください。針金や銅線は使用しないでください。
機器の保護ができず、発熱、火災の原因となります。

<生産完了 2005年07月29日>

各部のなまえとはたらき

各部のなまえ

1局用（AAR-101）前面

⑩電源コード

②マイク取付金具

TOSHIBA

REMOTE CONTROLLER AAR-101

マイク音量

本体動作　電源

電源

⑥チャイムスイッチ

④電源表示灯

⑦マイク音量調節器

③電源スイッチ

⑤本体動作表示灯

①フレキシブルマイク

5局用（AAR-501）前面

⑩電源コード

②マイク取付金具

TOSHIBA

REMOTE CONTROLLER AAR-501

選　択

1　2　3　4　5　一斉

マイク音量

本体動作　電源

電源

⑥チャイムスイッチ

④電源表示灯

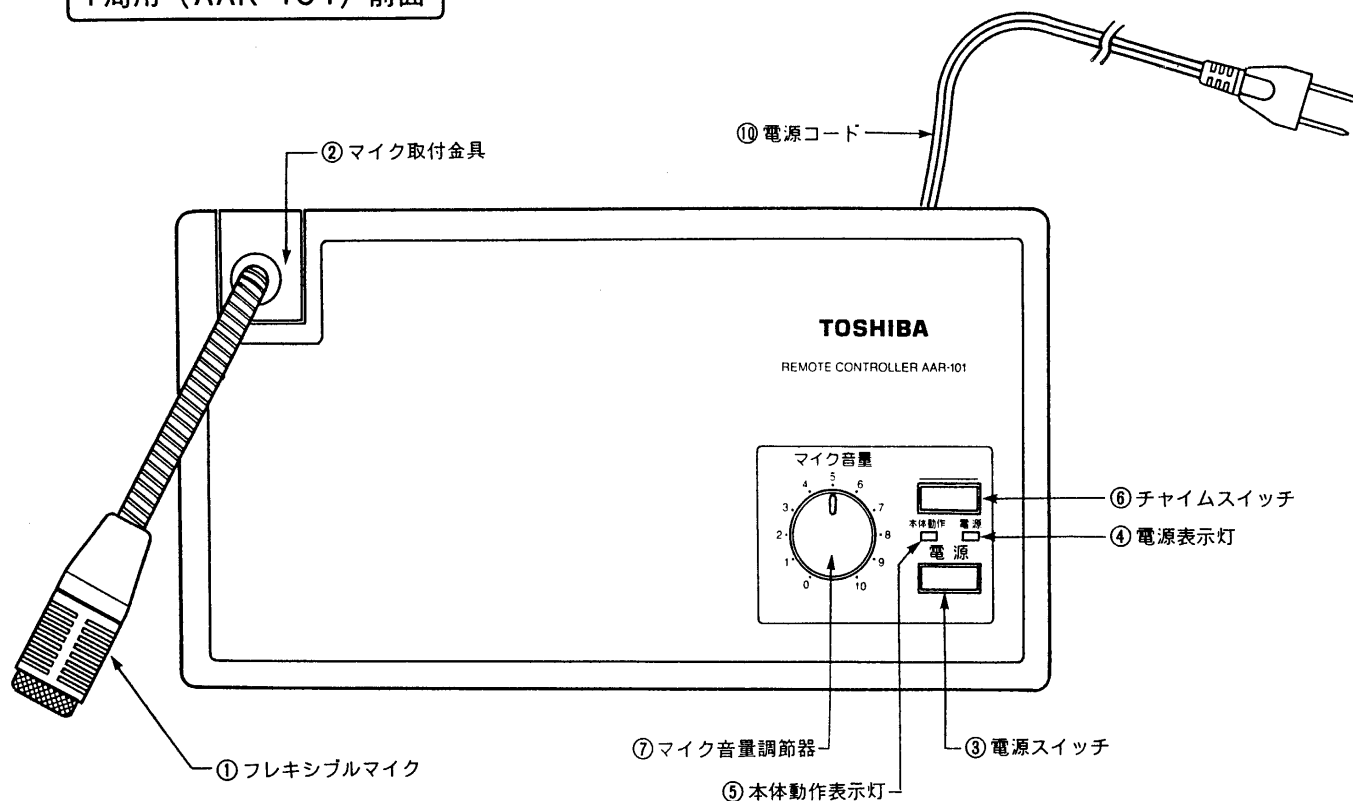
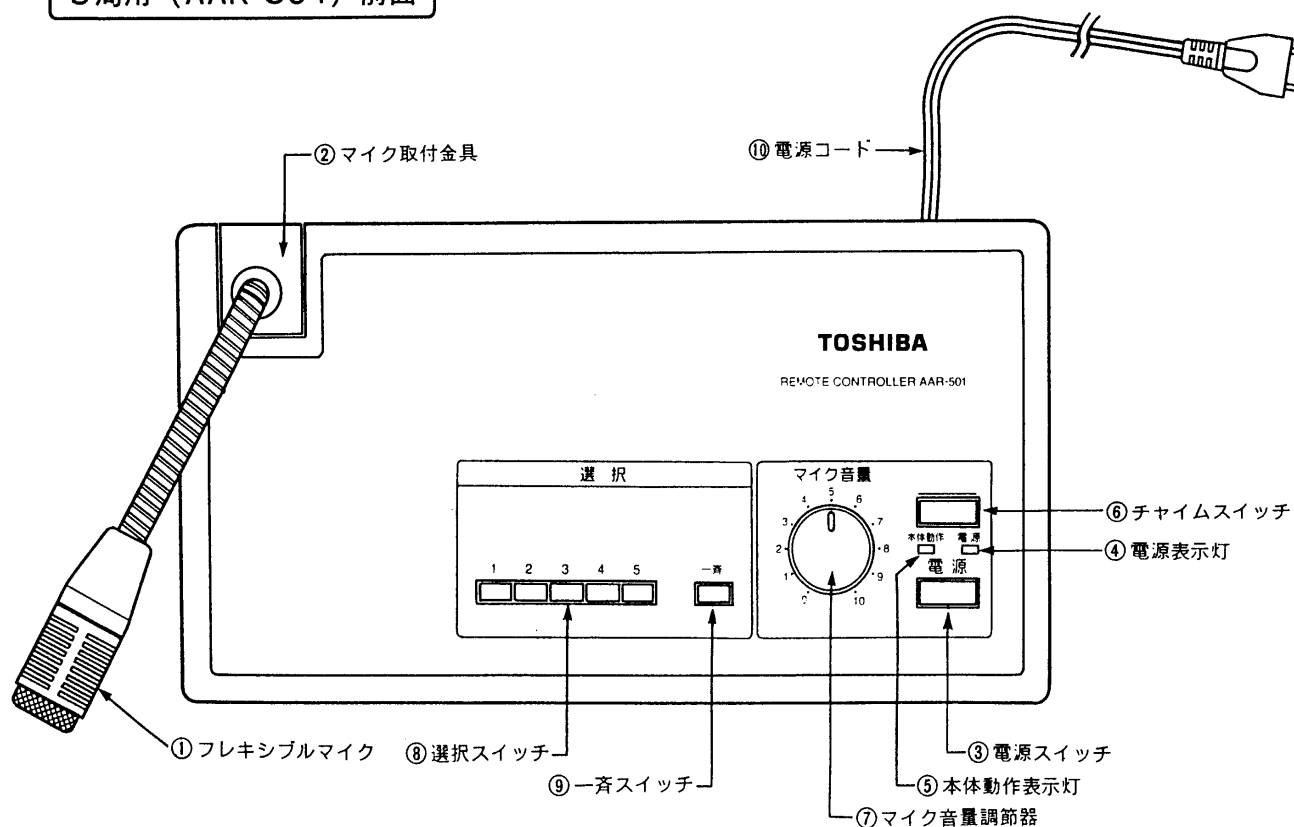
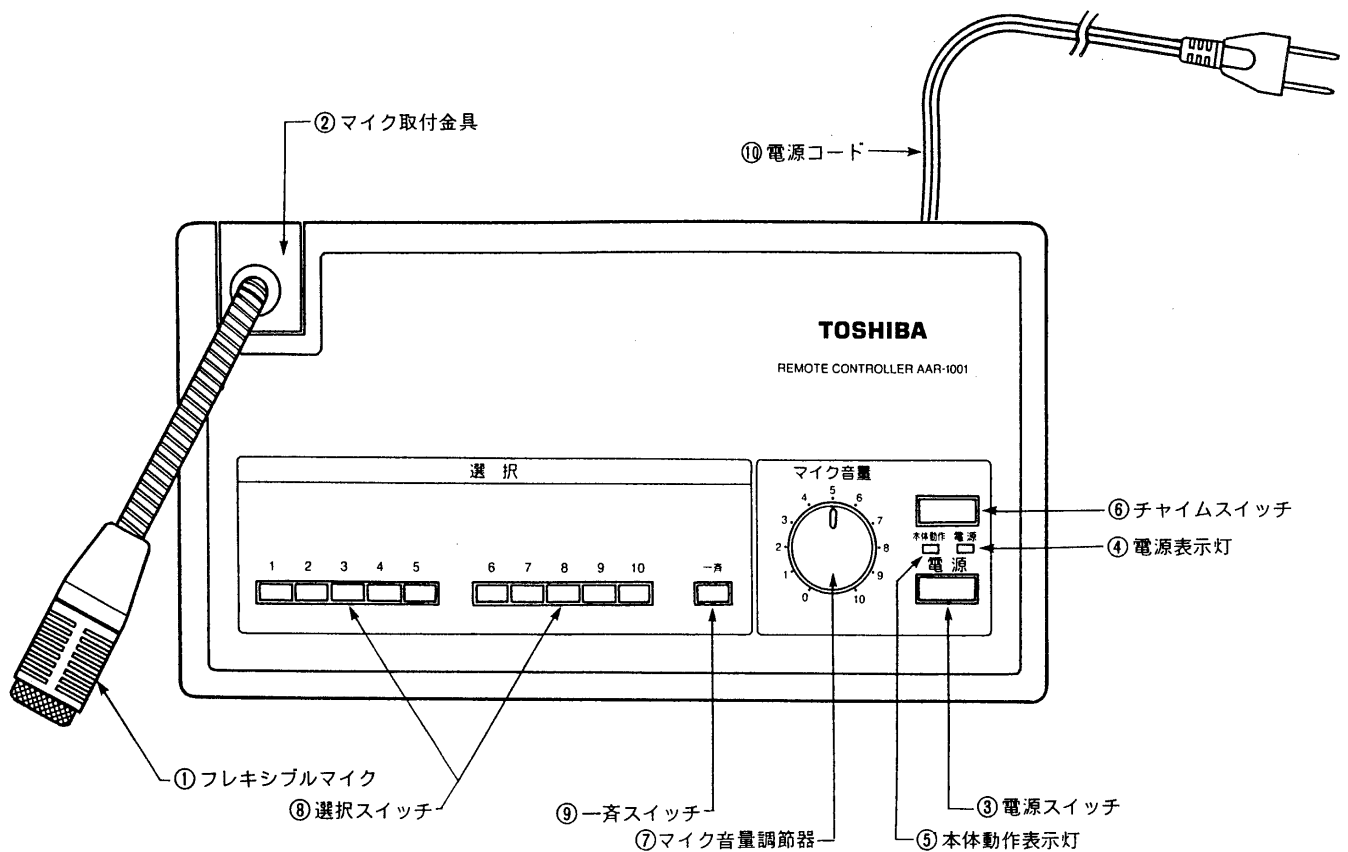
①フレキシブルマイク

⑧選択スイッチ

⑨一斉スイッチ

③電源スイッチ

⑤本体動作表示灯

⑦マイク音量調節器

10局用（AAR-1001）前面

各部のはたらき

①フレキシブルマイク
- マイク放送するときに使用します。

②マイク取付金具
- 設置状態（卓上、壁取付）に合わせて、取付方向を変えられます。

③電源スイッチ
- 使用するときに押します。使用終了後は再度押して復旧させます。

④電源表示灯
- 電源スイッチを押して、本体内部の各回路に電源が供給されている間点灯します。

⑤本体動作表示灯
- 本機を接続するアンプ（卓上アンプ、壁掛形アンプ、ロッカー形アンプ等）が作動していることを示す表示灯です。

⑥チャイムスイッチ
- 放送前の予告音としてチャイム音を放送するときに押します。
- チャイム音を放送するときは、チャイムユニット（別売)（形名：ACU-4020A）が必要です。

⑦マイク音量調節器
- フレキシブルマイクで放送する音量を調節するものです。

⑧選択スイッチ
- 放送先を選択するときに押します。
- 選択を解除するときは再度押します。

⑨一斉スイッチ
- 選択スイッチの放送先へ一斉に放送するときに押します。
- 一斉を解除するときは再度押します。

⑩電源コード
- 先端のプラグをAC 100Vコンセントに差し込みます。

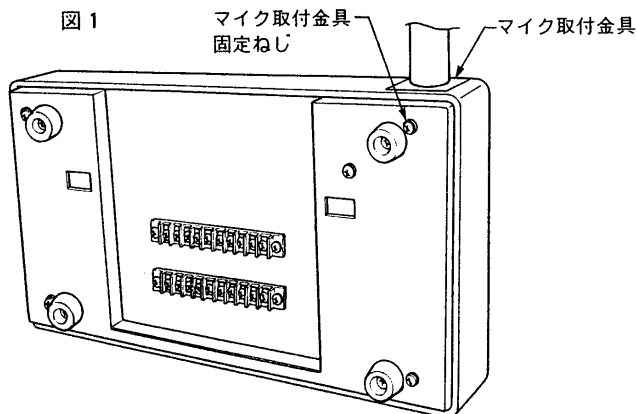
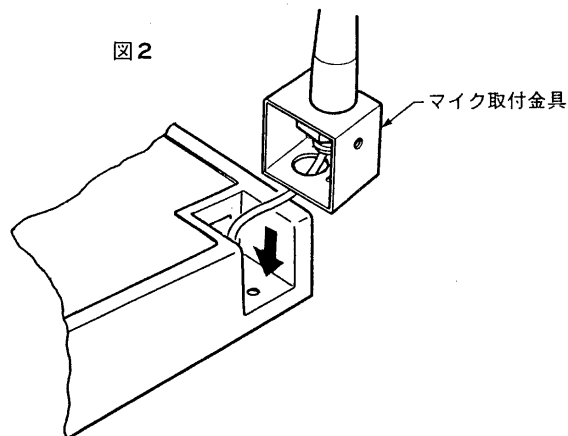
<生産完了 2005年07月29日>

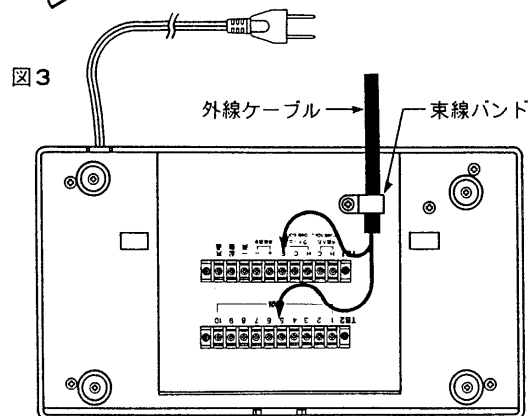
設置のしかた

- 本機は、卓上または壁取付のいずれの取付でも使用できます。
- 壁取付の場合は、別売の壁取付金具（形名：LAD-9004）が必要です。

卓上形の場合 ………〔マイク取付金具の取付変更が必要です。〕

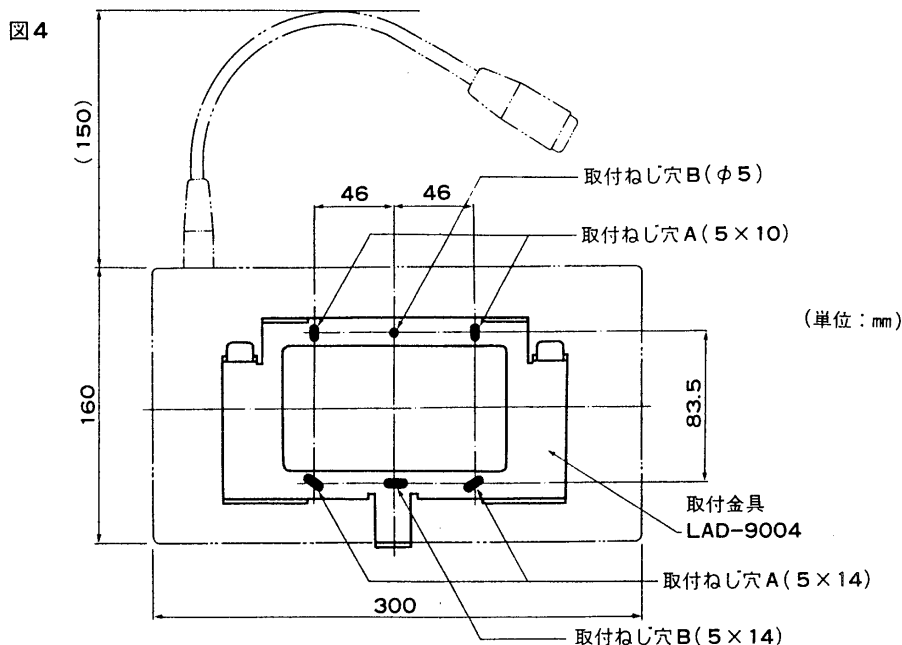
- フレキシブルマイクの取付が出荷時は壁取付用の取付となっていますので、次の手順にて卓上用に付けかえてください。

①図１の底面のマイク取付金具固定ねじをはずします。

②マイク取付金具を引き出し、フレキシブルマイクが図２のように前面パネル面にくるように90°回転させます。

③マイク取付金具は（①項ではずした）固定ねじでねじ止めします。

④図３のように外線ケーブルを底面の端子台に接続します。（接続のしかた９ページを参照）
外線ケーブルは束線バンドで固定します。

壁取付の場合 ……〔別売の壁取付金具LAD-9004が必要です。〕

- 別売の壁取付金具LAD-9004を使用して次の手順にて壁取付してください。

①取付金具を壁面に取り付けます。

<生産完了 2005年07月29日>

●壁面に壁取付金具を下記の要領で固定してください。

1）コンクリート壁の場合

- φ4のアンカーボルト4本を図4の取付ねじ穴（B）のピッチで壁に埋め込みます。

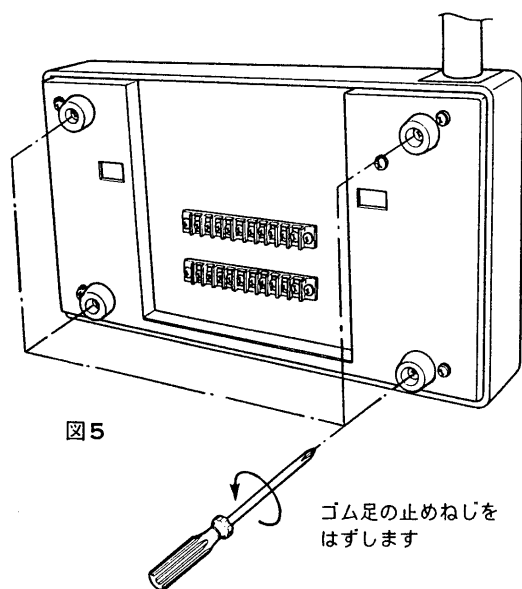
2）板壁の場合

- 壁取付金具に付属の木ねじ6本で、取付ねじ穴（AとB）を使用して、壁面に固定します。

3）スイッチボックス取付の場合

- 3個用スイッチボックスに、壁取付金具に付属のM4のねじ6本で取付ねじ穴（AとB）を使用して、スイッチボックスに取付けます。

②図5のように本機底面のゴム足を取りはずします。

図5

③図6のように外線ケーブルを接続端子に接続します。
（接続のしかた9ページを参照）

- 接続後は外線ケーブルを束線バンドで固定します。

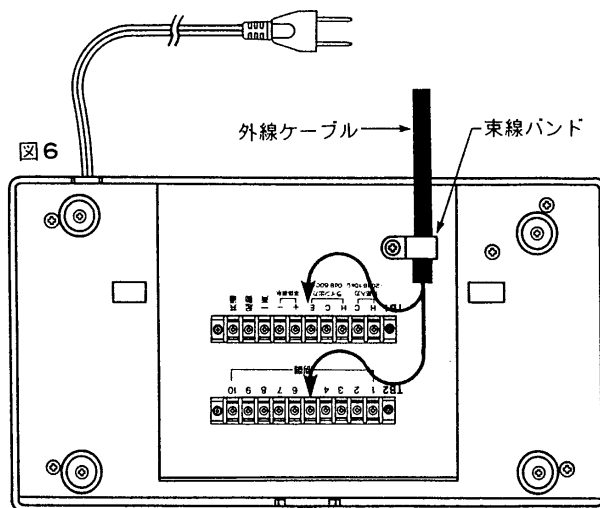
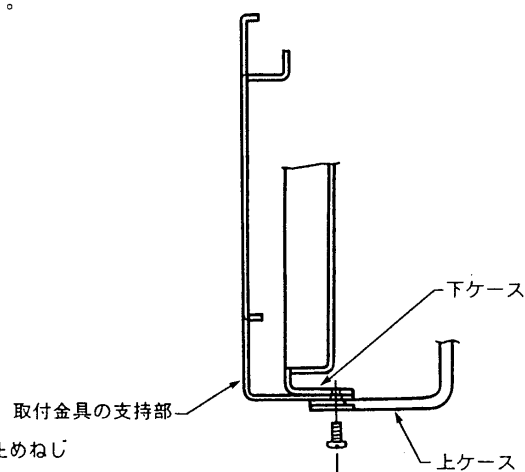
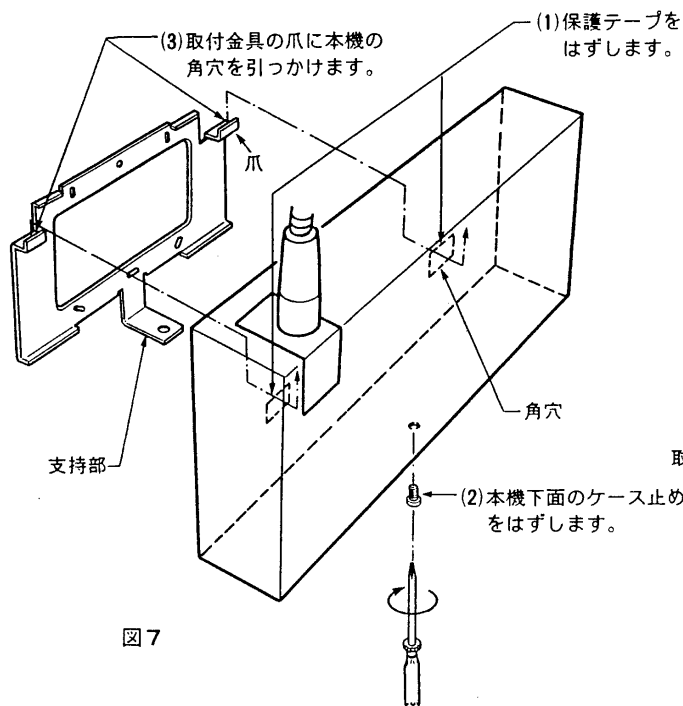
図6

④本機を取付金具に図7の要領（(1)〜(4)の手順）で固定します。

図7

(4)取付金具の支持部を本機の上ケースと下ケースの間に通し、(先にはずした）ケース止めねじで本体を壁取付金具に固定します。

接続のしかた

1局用（AAR-101）の場合

外部機器
（カセットデッキ等）
ライン出力
⊕へ ⊖へ
TB1
H C H C E ＋ − 一斉 起動 共通
外部入力 -20dB 10kΩ　ライン出力 0dB 600Ω　本体表示
AAR-101

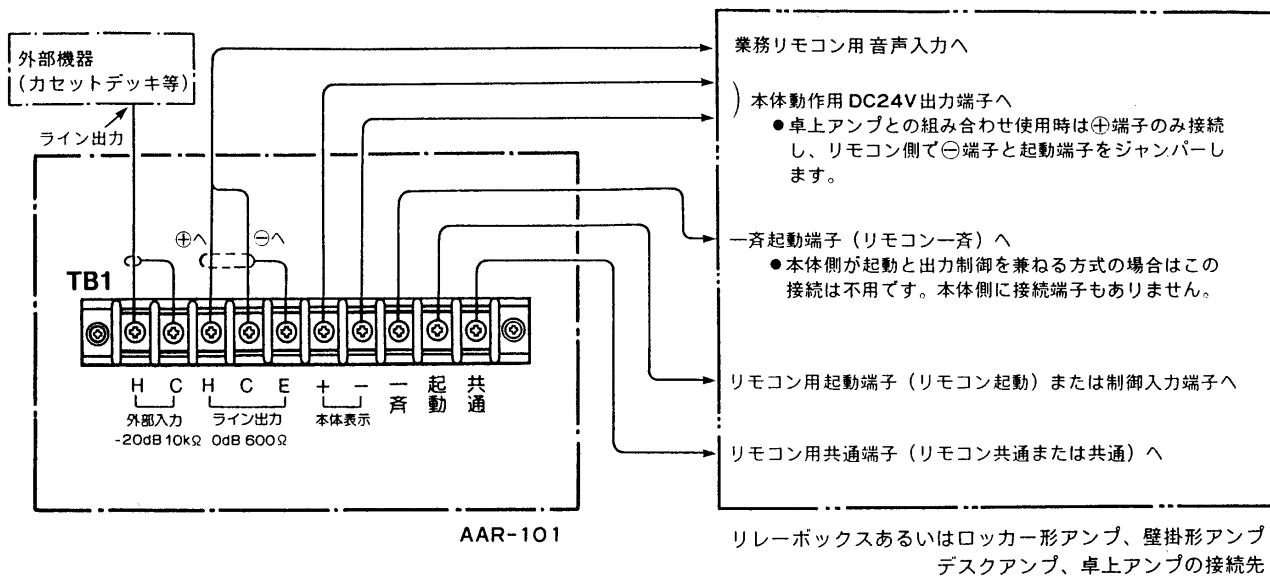
業務リモコン用音声入力へ

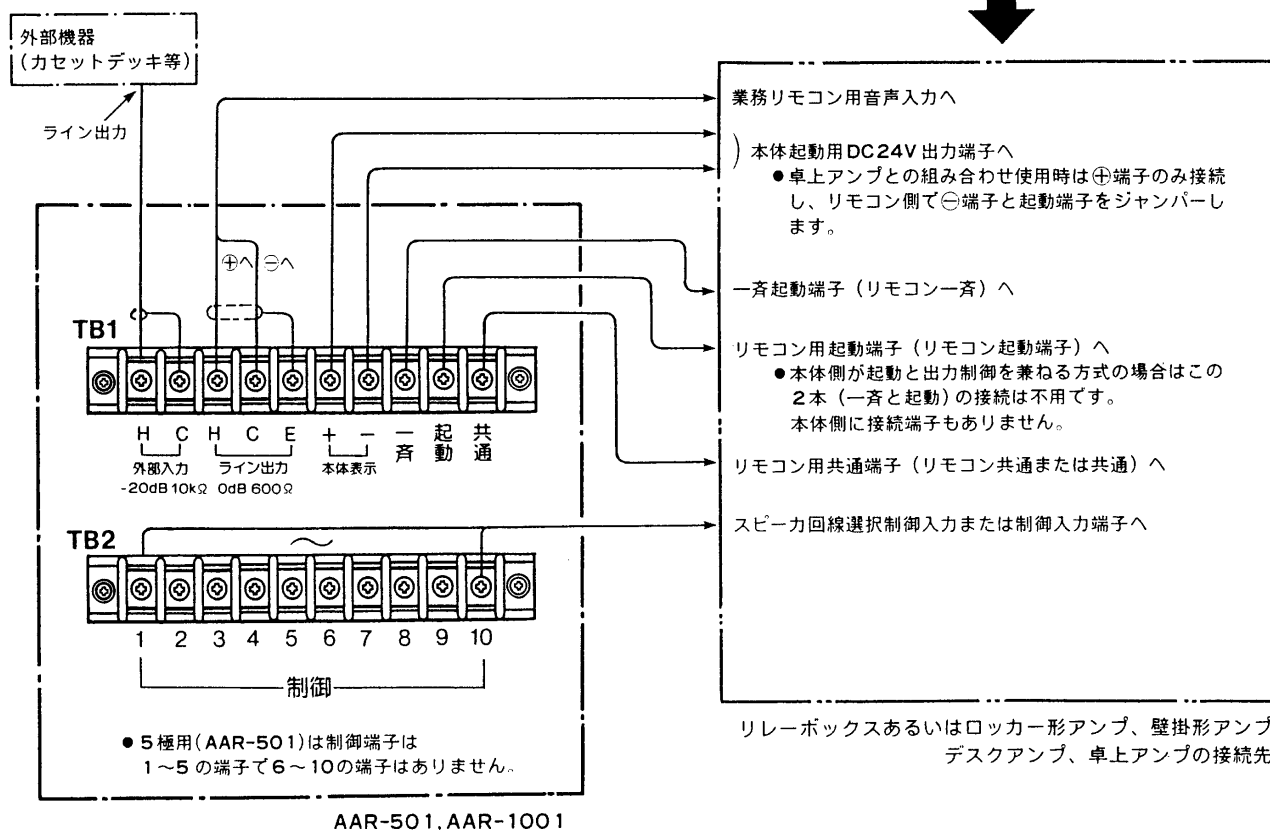
本体動作用DC24V出力端子へ
- 卓上アンプとの組み合わせ使用時は⊕端子のみ接続し、リモコン側で⊖端子と起動端子をジャンパーします。

一斉起動端子（リモコン一斉）へ
- 本体側が起動と出力制御を兼ねる方式の場合はこの接続は不用です。本体側に接続端子もありません。

リモコン用起動端子（リモコン起動）または制御入力端子へ

リモコン用共通端子（リモコン共通または共通）へ

リレーボックスあるいはロッカー形アンプ、壁掛形アンプ
デスクアンプ、卓上アンプの接続先

ご注意
- 接続する機器や構成によって接続が異なります。
また接続しない端子もあります。
- 必ず接続するリレーボックス、ロッカー形アンプ、壁掛形アンプ、デスクアンプ、卓上アンプの取扱説明書、設置要領書に従って接続してください。

5局用(AAR-501)、10局用(AAR-1001)の場合

ご注意
- 本機の接続先のリモコン用入力が平衡入力になっていないときは、平衡入力にしてください。
- 外部機器は出力レベルが−20dB程度のものをお使いください。

配線（制御線、共通線）の太さ

● 下の表に従って配線する制御線、共通線を選定してください。

線径（φmm）	0.65	0.8	1.0	1.2
最大配線距離（m）	150	250	400	550

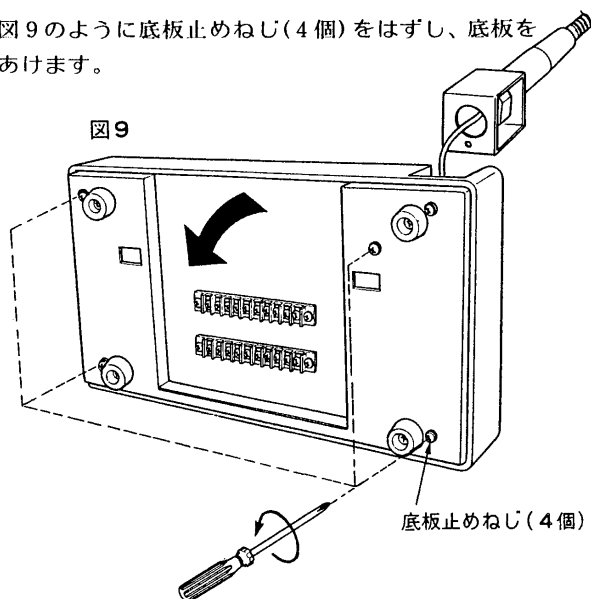
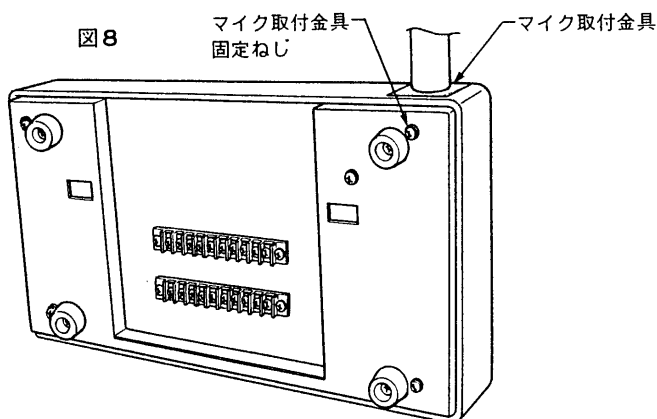
チャイムユニットの接続

● 放送前の予告音としてチャイム音（4音）を放送するときは、チャイムユニット（別売）が必要です。
● 下記の手順でチャイムユニットを取り付けてください。

①図8のようにマイク取付金具固定ねじをはずします。

図8

②図9のように底板止めねじ（4個）をはずし、底板をあけます。

図9

③内部にチャイムユニット取りつけ用ソケットがあります。

(a)．図10のチャイムユニット取りつけ用ねじ（2個）をはずし

(b)．図11のようにチャイムユニットをソケットに差し込みます。

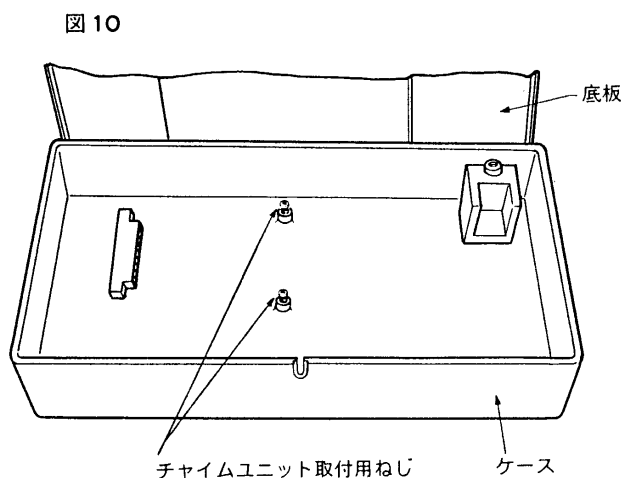
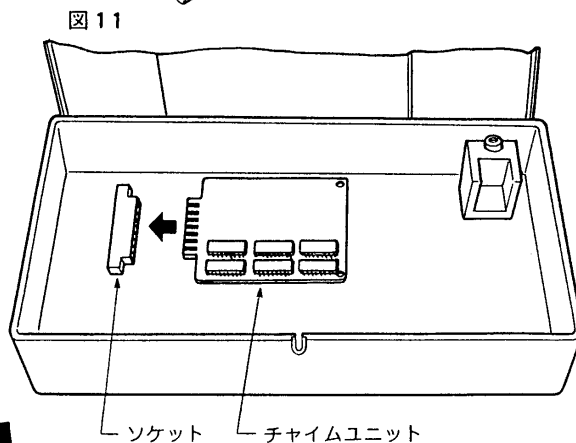
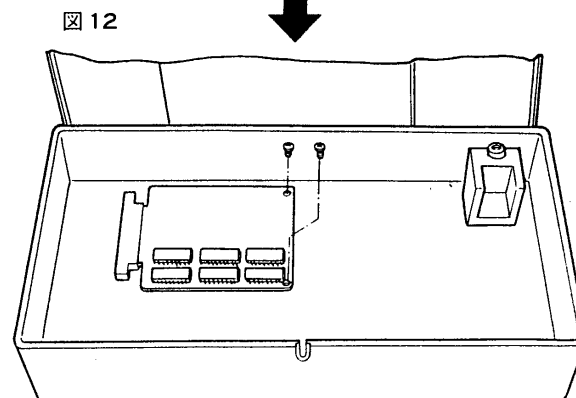
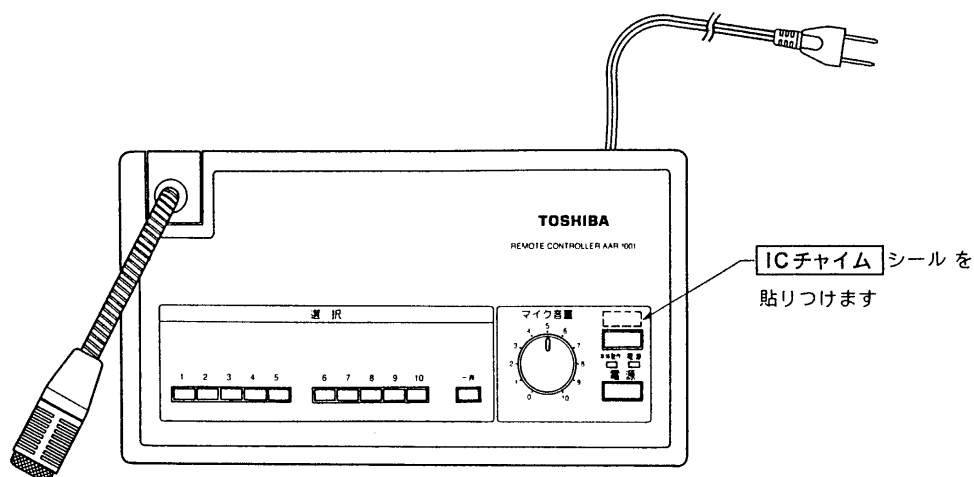
(c)．図12のようにチャイムユニットをケースにねじ（2個）で固定します。

(a) このねじ（2個）を取りはずします

(b) チャイムユニットをソケットに差し込みます

図12

(c) チャイムユニットをねじ（2個）で固定します

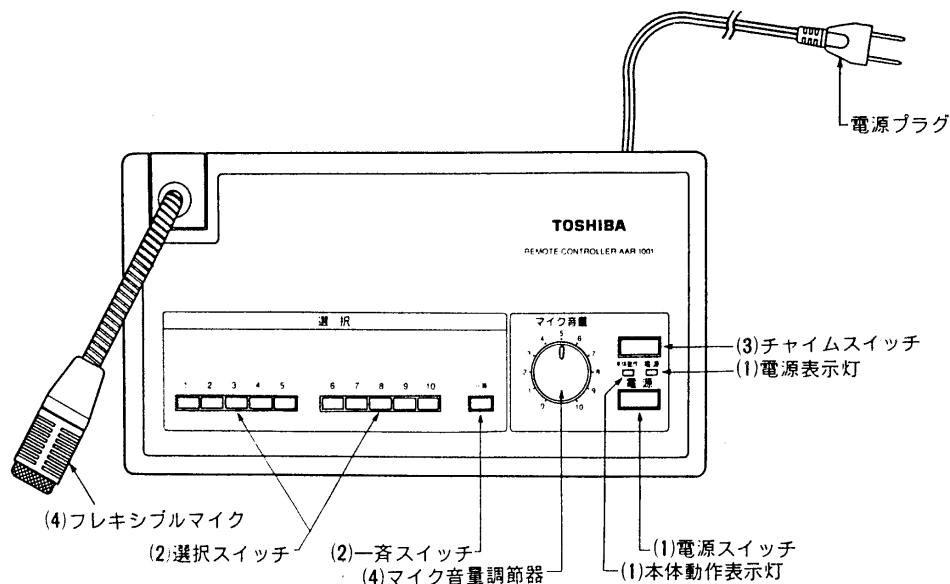
④底板をもとのようにケースにねじ(4個)で固定します。
線がはさみこまれないようにご注意ください。
⑤マイク取付金具を固定ねじでもとのように取りつけ、固定してください。
⑥チャイムユニットに付属の ICチャイム シールをチャイムスイッチ上のガイド線に沿って貼りつけてご使用ください。

使いかた

準 備

- 接続が終わりましたら電源スイッチ、選択スイッチ、一斉スイッチが押されていない状態にしてください。
  マイク音量調節器は「0」の位置（左いっぱいに絞った位置）にしてください。
- 電源プラグをAC100Vコンセントに差し込んでください。
- 接続する本体へも電源を供給してください。

操作のしかた

(1)電源スイッチを押してください。電源表示灯が点灯して操作できる状態になります。
本体側の電源も同時に起動され、本体動作表示灯が点灯します。
(2)選択スイッチを押して放送する先を選択します。
一斉に放送するときは一斉スイッチを押します。
(3)チャイムユニットを組み込んでご使用の場合はチャイムスイッチを押します。
放送前の予告音としてチャイム音（4音）が放送されます。
チャイムの音量は内蔵のチャイムユニットで調節できます。
大きすぎる場合や小さすぎる場合はチャイムユニットの「音量」ボリュームで適切な音量に調節してください。
(4)フレキシブルマイクを使って放送するときは、マイク音量調節器を右にまわし、お好みの音量に調節してください。
(5)外部機器（カセットデッキ等）を使って放送するときは、外部機器を動作させます。
音量は外部機器側で調節してください。

<生産完了 2005年07月29日>

修理サービス

ご使用中に異常が生じたときはお使いになるのをやめ、お買いあげの販売店またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。なお、ご相談されるときは機器の形名（AAR-101、AAR-501、AAR-1001）およびお買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

仕　様

項目＼機種	AAR-101	AAR-501	AAR-1001
使用電源	AC100V　50/60Hz		
消費電力	3W		
入力回路	フレキシブルマイク……-60dB　2kΩ　不平衡（音量調節器付）1回路 4音チャイム……………別売 外部入力…………………-20dB　10kΩ　不平衡　1回路		
出　力	0dB　600Ω　平衡　1回路		
S／N比	50dB以上		
ひずみ率	1％以下		
周波数特性	100～10000Hz　±3dB以内		
選　択	1回路	選択スイッチ　5回路 一斉　1回路	選択スイッチ　10回路 一斉　1回路
表　示	電源表示灯（緑） 本体動作表示灯（緑）		
外　観	材質……枠：樹脂　　パネル、底板……鋼板 色調……枠アイボリー　　パネル…………アイボリーおよびグレー		
取　付	卓上、壁掛兼用 （壁取付時は専用金具 別売、（形名：LAD-9004）必要）		
質　量	2.1kg		
付属品	ヒューズ（1A）…………1 取扱説明書………………1 東芝お客様ご相談センター一覧表…………1	ヒューズ（1A）…………1 放送先シール……………1 取扱説明書………………1 東芝お客様ご相談センター一覧表…………1	ヒューズ（1A）…………1 放送先シール……………2 取扱説明書………………1 東芝お客様ご相談センター一覧表…………1

外形寸法図（AAR-1001の場合）

東芝ライテック株式会社 システム事業部 〒140-8660 東京都品川区南品川2丁目2番13号（南品川JNビル）TEL（03）5463-8779

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。